

厚生労働省 令和7年度「介護現場の生産性向上に関する普及加速化事業」
介護現場における生産性向上推進フォーラム 企業出展 公募要領

厚生労働省 令和7年度「介護現場の生産性向上に関する普及加速化事業」では、介護分野における生産性向上の取組に対する気運を盛り上げることを目的に「介護現場における生産性向上推進フォーラム」を開催する予定である。同時に企業出展にて介護現場の生産性向上に効果があると認められる機器・ソフトウェアの情報を提供することで、事業所や自治体等の参加者が生産性向上の取組について具体的なイメージを持てるようにする。本要領では上述の企業出展における機器・ソフトウェアの開発企業の公募について以下のとおり定める。

<フォーラム概要>

1 フォーラムの概要

介護現場における生産性向上の取組を更に普及し、生産性向上の取組に対する気運の醸成を図る目的で、全国1か所にてフォーラムを開催する。本フォーラムでは、生産性向上の取組を実施している介護サービス事業所による講演及び報告を中心として、自治体による生産性向上の取組に対する支援事業の報告や、生産性向上の取組を実施するためのポイント解説、また、介護テクノロジーの紹介を行う。なお、本フォーラムは会場とWebのハイブリッド形式で開催予定である。

2 開催場所

- [イイノホール&カンファレンスセンター](#)
(東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング 4階 イイノホール)
※ 会場：430人程度、オンライン4,500人程度の参加者を想定
※ 機器展示場所 (イイノホール ホールホワイエ)

3 開催日時

- 2026年3月2日(月)
※ 開催日は決定。開催時間は2025年11月までに決定する予定。
(機器展示・フォーラムは、午前中に準備、正午以降に開始することを想定)

<公募要領>

1 公募期間

- 2025年8月28日(木)～9月25日(木)
※ ただし、応募状況により公募期間を予告なく変更することがある。

2 対象となる機器・ソフトウェア及び採択する数

- 対象：経済産業省と厚生労働省が策定した「[介護テクノロジー利用の重点分野](#)」の9分野16項目に該当する介護テクノロジー等又は介護における請求業務、記録業務、情報共有業務を一気通貫で行うことができるソフトウェア等のICTとする。
 - 機器・ソフトウェアの導入実績が10施設・事業所以上あること。
 - 機器・ソフトウェアを導入した施設・事業所の所在地が2都道府県以上あること。
- 採択する数：最大12種類程度。
※ 複数機器の出席を希望する場合は、機器・ソフトウェア毎に応募すること。

3 展示スペース等

- 出展スペース（横1.8m、奥行2m）内に展示することとする。
- 機器の搬入は出展企業が行うこととする。
- 搬入のタイミング等は、会場の指示に従うこととする。

※ 基本設備 机1卓、椅子2脚を予定。

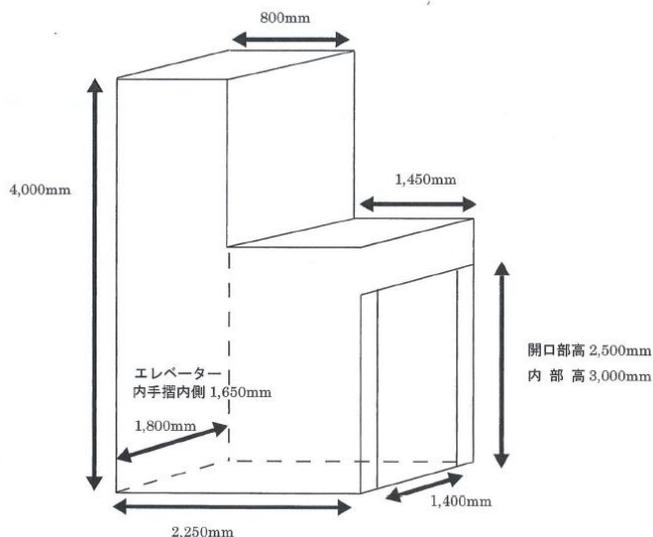
※ 出展スペース等は目安。出展数等によって、スペースや設備が増減することがある。また、応募する機器は<参考>の搬入出エレベーター内に収まるサイズであること。

※ 出展スペースは、パネル等の設置スペースを含む。

※ 4階のホールからホワイエへの搬入の導線上に、階段（12段程度）があるため、機器の搬入時に留意すること。

<参考>

【搬入出エレベーター内寸表】



4 応募方法

下記の指定の応募フォームに必要事項を記載の上、送信すること。

- ※ 機器・ソフトウェアの紹介用 PDF をアップロードできるよう準備すること。
- ※ 採択された機器・ソフトウェアの紹介用 PDF は、フォーラム HP へ掲載する予定。

応募フォームURLリンクは[こちら](#)

<二次元バーコード>



5 選定方法

事務局で選定委員会を設置し、選定を行う。

6 主な選定基準

- 介護の「質の向上」につながる機器・ソフトウェアであること。
 - 間接業務時間の削減等「量的な効率化」につながる機器・ソフトウェアであること。
 - 本フォーラムにおける出展が円滑に運営できること。
- ※ 詳細は、別紙 出展機器・ソフトウェア選考基準 (P.5, 6) を参照すること。

7 通知方法

- 採択の可否は、事務局より応募者に通知する (11 月頃を予定)。

8 出展費用

- 本出展における出展費用は無料とする。
- 出展に関わる什器、人件費、交通費、駐車場使用料等は出展企業の負担とする。

9 その他の留意事項

- フォーラムのプログラムにて、機器・ソフトウェアの紹介動画の配信（配信時間は今後決定。数分程度を想定）を予定。採択された各企業は、紹介動画の提供に協力すること。
※ プログラム内容は、予告なく変更するとなる可能性がある。
- 公募において、定数を超える応募があった場合は、選定委員会における評価の上位から採択する。
- 機器・ソフトウェアの HP の URL、紹介用 PDF、問合せ先を生産性向上推進フォーラムの HP に掲載予定である。
- 本公募で選定された機器・ソフトウェア以外に厚生労働省及び事務局が必要と認めた機器・ソフトウェアについて出展する可能性がある。
- その他の事項については、厚生労働省と協議して決定する。

10 応募先およびお問い合わせ先

厚生労働省 令和7年度 介護現場の生産性向上に関する普及加速化事業

「介護現場における生産性向上推進フォーラム」事務局

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

ライフバリュークリエイションユニット

担当：池永、山中、和久井、篠原、足立

Email：kaigoseisansei-seminar@nttdata-strategy.com

別紙 出展機器・ソフトウェア 選考基準

評価項目	評価ポイント	配点
<p>① 介護の「質の向上」につながる機器・ソフトウェアであること</p>	<p>(1) 介護の質の向上について効果があるもの</p> <p>1) <u>介護職員への効果</u> (以下の効果について①記載がある場合は5点、②記載内容に定量的な裏付けがある場合は10点)</p> <p>介護職員への効果</p> <ul style="list-style-type: none"> • 機器導入によるモチベーションの向上 • 機器導入による施設業務の品質向上 • 利用者と向き合う時間 • 心理的負担の軽減 • 肉体的負担の軽減 <p>2) <u>利用者への効果</u> (以下の効果について①記載がある場合は5点、②記載内容に定量的な裏付けがある場合は10点)</p> <p>利用者への効果</p> <ul style="list-style-type: none"> • ADLの向上 • 認知機能の向上 • 意欲・QOLの向上 • 利用者の社会参加の変化 • 利用者のコミュニケーションの変化 <p>3) <u>その他の関係者への効果</u> (以下の効果について①記載がある場合は5点、②記載内容に定量的な裏付けがある場合は10点)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 他事業所との情報共有 • 多職種との情報共有 • 家族との情報共有 	<p>30点</p>
<p>② 間接業務時間の削減等「量的な効率化」につながる機器・ソフトウェアであること</p>	<p>1. 間接業務時間の削減等「量的な効率化」について効果があるもの (以下の効果について①記載がある場合は15点、②記載内容に裏付けがある場合は30点)</p> <p>間接業務時間の削減等「量的な効率化」の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> • 所定外労働時間 • 業務量 • 業務にかかる人員数 • 有給休暇の取得 	<p>30点</p>

	<ul style="list-style-type: none"> • 夜勤回数 	
③ 本フォーラムにおける出展が円滑に運営できること	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会場出展で複数の出展経験があること (10点) 2. パンフレット等の紹介資料があること (5点) 3. Webサイトでの紹介資料があること (5点) 	20点